

樹の木Ⅱ ウッドパーティション

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入りポリエチレン樹脂でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分ご注意ください。
 - ・平らな場所に保管してください。(立てかけて置かないでください)
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- T-14、18をデッキ上に設置する場合は、あらかじめ指定の箇所にEX柱取付補助材セットを組込み施工してください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 支柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがないでください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要の場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って(平行)行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗い等をしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■梱包明細表

①主柱(ベース仕様)セット

名 称	略 図	員 数	
		T-12 以下	T-14 以上
主柱(ベース仕様)		1	1
柱スリーブB		1	1
①-① φ4×35サラタッピン ネジ2種 D=8 G=5		4	4
①-② φ5×40サラ特殊ネジ		4	4
①-③ φ4×19サラピアスネジ		4	4
フェンス取付アングル		2	2
①-④ φ5×70トラスタッピン ネジ3種		8	6
①-⑤M5用六角ナット		4	4
①-⑥M5用平座金		4	4
①-⑦M5用バネ座金		4	4

②主柱(埋込仕様)セット

名 称	略 図	員 数
主柱(埋込仕様)		1
取付説明書<C281>	—	1
取扱説明書<UE020>	—	1

③コーナー柱(埋込仕様)セット

名 称	略 図	員 数	
		T-12 以下	T-14 以上
コーナー柱(埋込仕様)		1	1
コーナー柱化粧材		1	1
③-① φ4×35サラピアス ネジ D=8		2	3

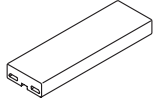
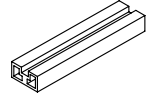
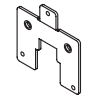
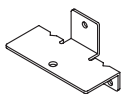
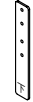
④柱控部材セット(T-14以上)

名 称	略 図	員 数
柱控部材		1
④-① φ3.8×20ナベ特殊ネジ		8
フェンス取付アングル		2
④-② φ5×70トラスタッピン ネジ3種		6
④-③M5用六角ナット		4
④-④M5用平座金		4
④-⑤M5用バネ座金		4

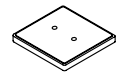
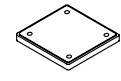
⑤ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数	
		A	B
ベースプレートA		1	—
ベースプレートB		—	1

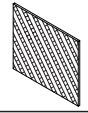
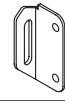
⑥パネル上下枠セット

名 称	略 図	員 数
上枠		1
下枠		1
上枠組付金具		2
下枠組付金具		2
下枠組付ゲージプレート		1
補修用研磨紙A		1
⑥-① φ 3.8×32サラ特殊ネジ		4
⑥-② φ 4×30ナベピアスネジ		4
⑥-③ φ 3.8×20ナベ特殊ネジ		10
⑥-④ M5×45サラ小ネジ		2

⑦柱キャップセット

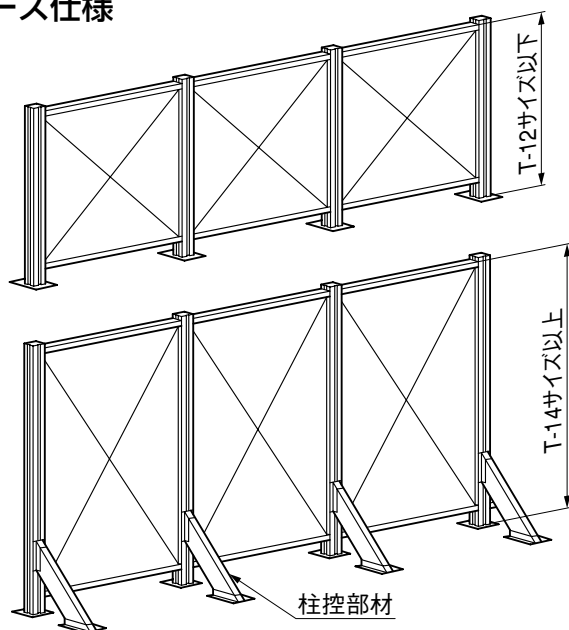
名 称	略 図	員 数	
		A	C
柱キャップA		1	—
柱キャップC		—	1
⑦-① φ 4×30サラタッピン ネジ1種		2	—
⑦-② φ 3.8×32サラ特殊ネジ		—	4

⑧ラチスパネルセット

名 称	略 図	員 数	
		T-14 以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス枠固定金具		—	4
⑧-① φ 3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
⑧-② φ 4×20トラスタッピン ネジ3種 D=8		—	4
⑧-③ φ 4×30トラスタッピン ネジ3種 D=8		—	2
⑧-④ M4六角袋ナット		—	4
⑧-⑤ M4平座金		—	8

1. 施工時の重要注意項目

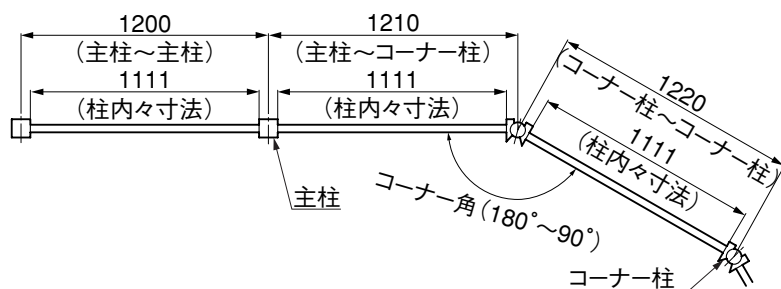
1-1 ベース仕様



ポイント

- 左図のようにT-14以上のフェンスには、必ず柱控部材を組付けてください。
- 前面に立てる柱控部材固定金具の下に、EX柱取付補助材が入っていることを確認してください。入っていない場合は、「樹の木II (E146)」の取付説明書を参照してください。

1-2 埋込仕様

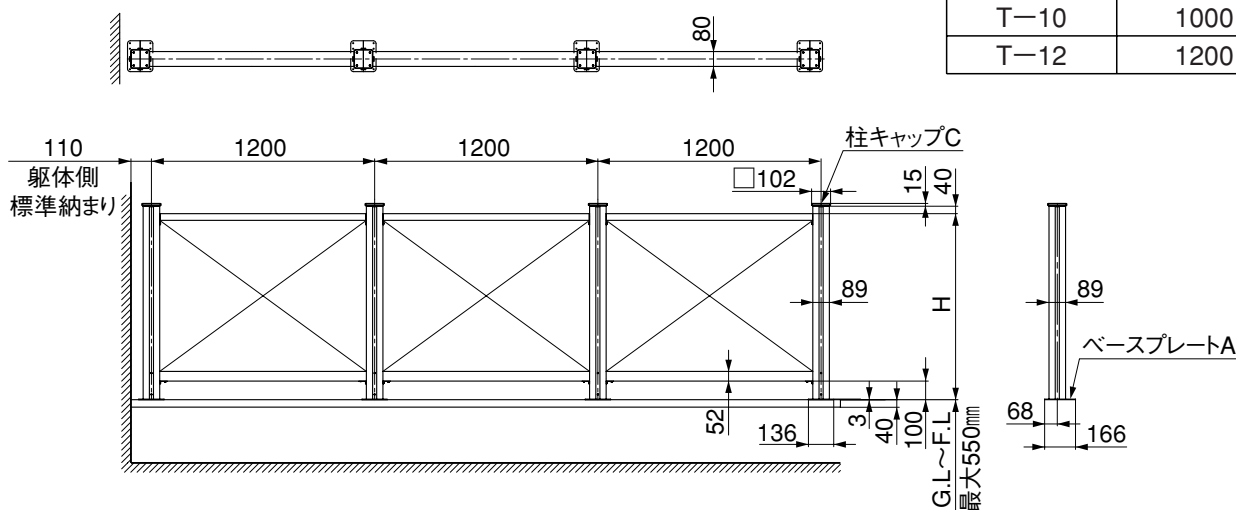


補足

- 左図のようにコーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。
- コーナー角の対応角は180°~90°です。

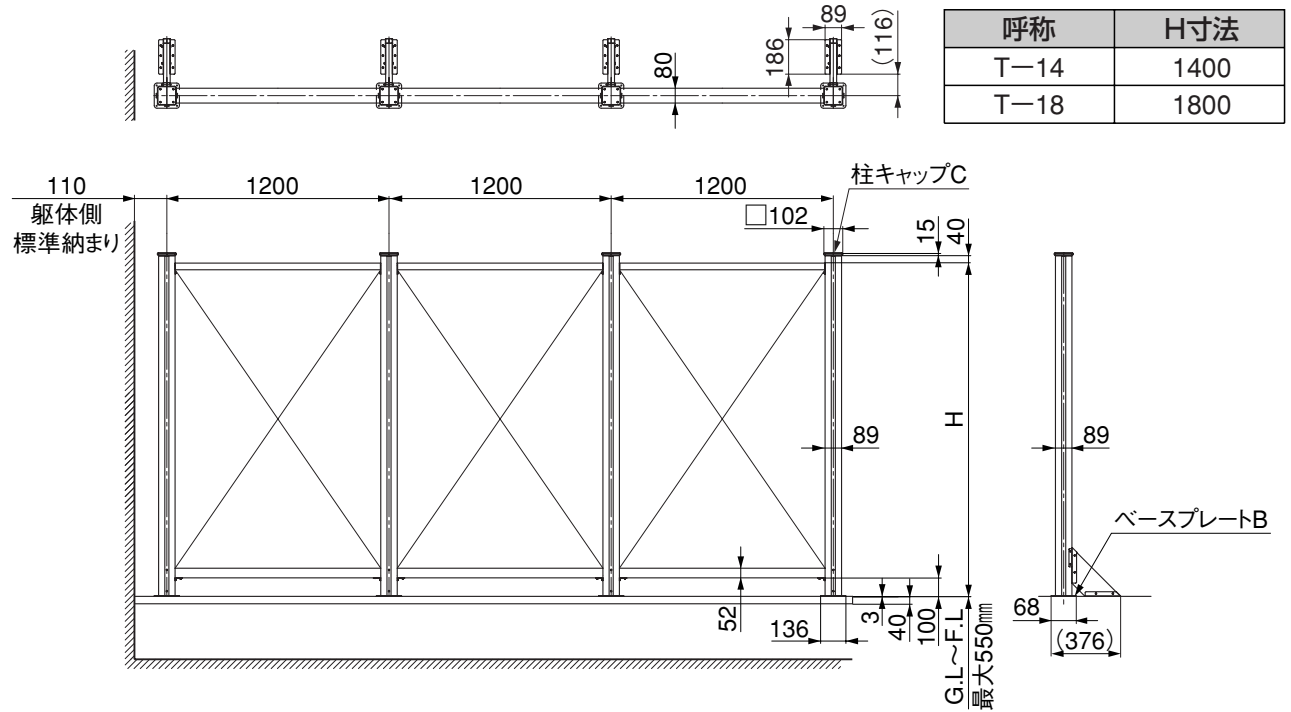
2. 基本寸法図

2-1 ベース仕様 T-8~12

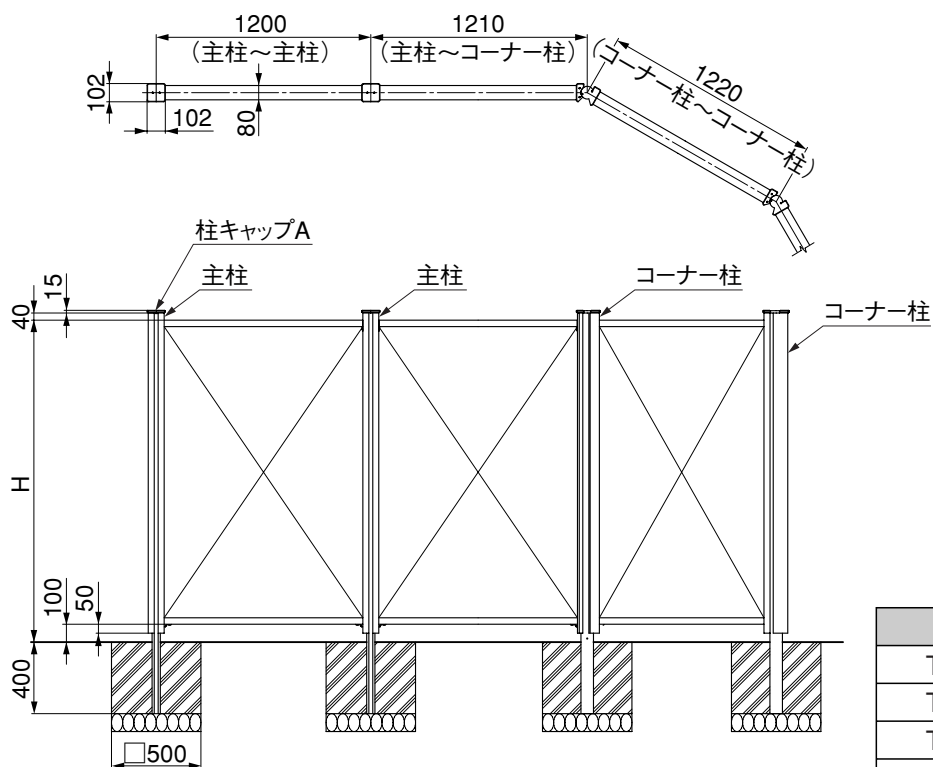


呼称	H寸法
T-8	800
T-10	1000
T-12	1200

2-2 ベース仕様 T-14・18

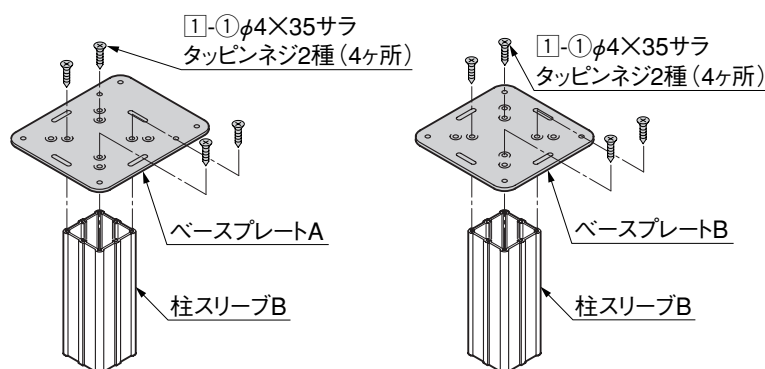


2-3 埋込仕様



呼称	H寸法
T- 8	800
T-10	1000
T-12	1200
T-14	1400
T-18	1800

3. 柱の準備



T-12以下の場合

T-14以上の場合

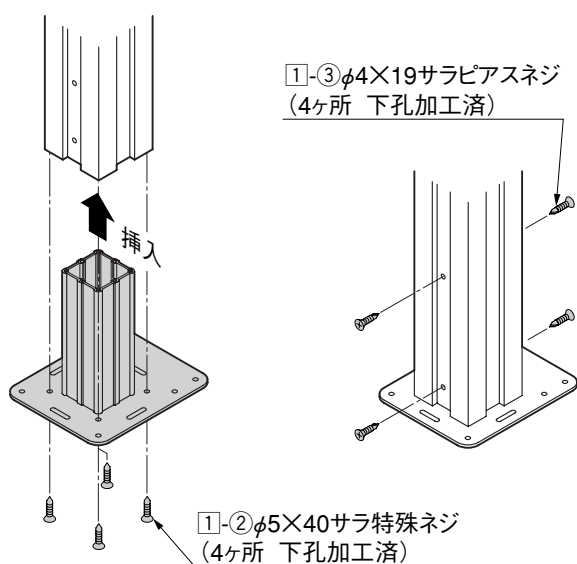


図3-1

補足

- 柱には上下の区別があります。

- ① ベースプレートA, Bと柱スリーブBを、①-①で4点固定してください。

- ② 主柱の下側(孔加工された側)から、ベースプレートA, Bを組付けた柱スリーブBを図3-1の向きに挿入してください。

補足

- 図3-1はT-12以下のとき(ベースプレートA使用時)です。T-14以上のときはベースプレートBを使用します。
- ベースプレートBに方向性はありません。

- ③ ベースプレートA, Bの裏側から、①-②で主柱とベースプレートBを固定してください。
- ④ 主柱の孔位置から①-③で、主柱と柱スリーブBを固定してください。

4. 柱の組付け

4-1 T-12以下のベース柱

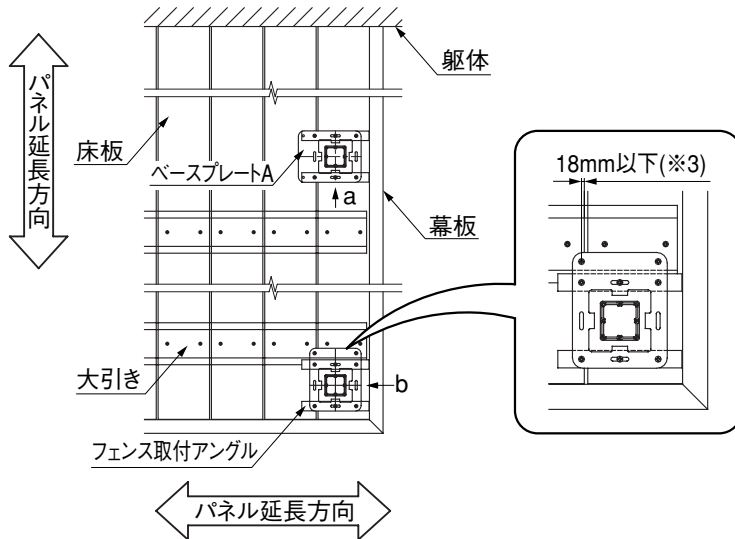


図3-1

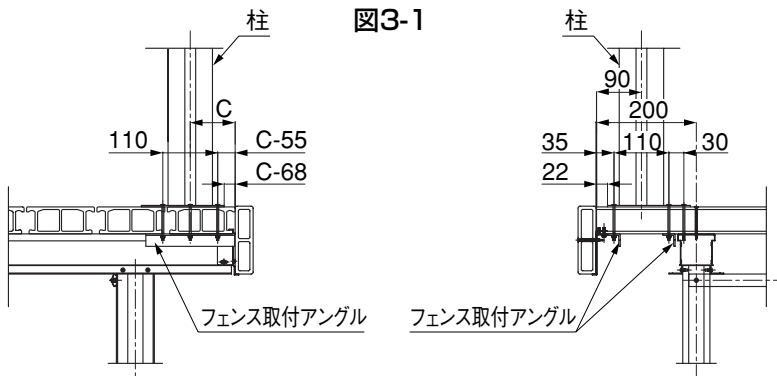


図4-2 (a)矢視図

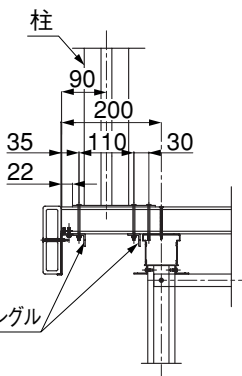


図4-3 (b)矢視図

- ① 柱の固定位置を決めてください。
(図4-1、4-2、4-3、参照)

ポイント

- 図4-1は、フェンスを躯体に向かってデッキの右端に設置する場合を示しています。左端に設置するときは、左右反転しますので注意してください。
- デッキの側面に立てる場合は図4-2、4-4、前面に立てる場合は図4-3、4-5を参照してください。
- 図4-2のC値の最小値は90mmです。
- 図4-2のC値はフェンス取付アングルが手で届く範囲で自由に設定することができます。

- ② ネジ位置をマーキングしてください。
(※1)
- ③ マーキングした床板にφ5.5、大引きにφ4.5の下孔をあけてください。(※2)

補足

- デッキ横止め施工の場合、ネジ位置が床板端面から18mm以下のときは大引きにネジを止める必要はありません。(※3)

- ④ ①-④、①-⑤、①-⑥、①-⑦でフェンス取付アングルを挟み込んで取付けてください。(図4-4、4-5参照)

補足

- 90°コーナー部のベースプレート設置方向は、90°回転しても構いません。

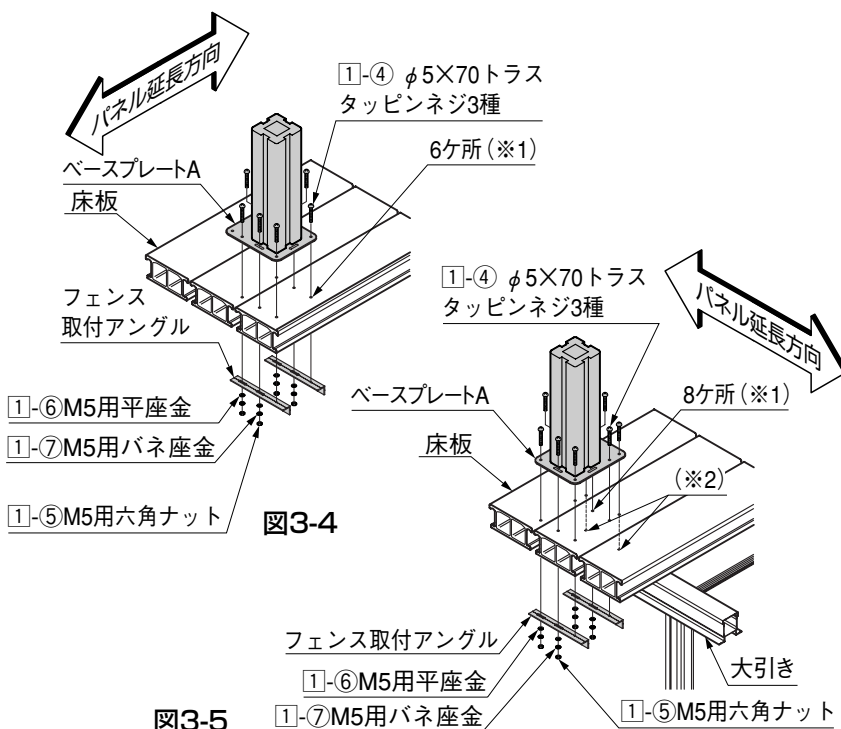


図3-4

図3-5

4. つづき

4-2 T-14以上のベース柱

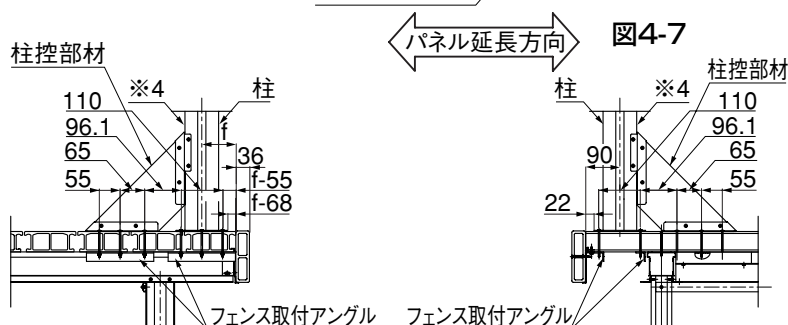
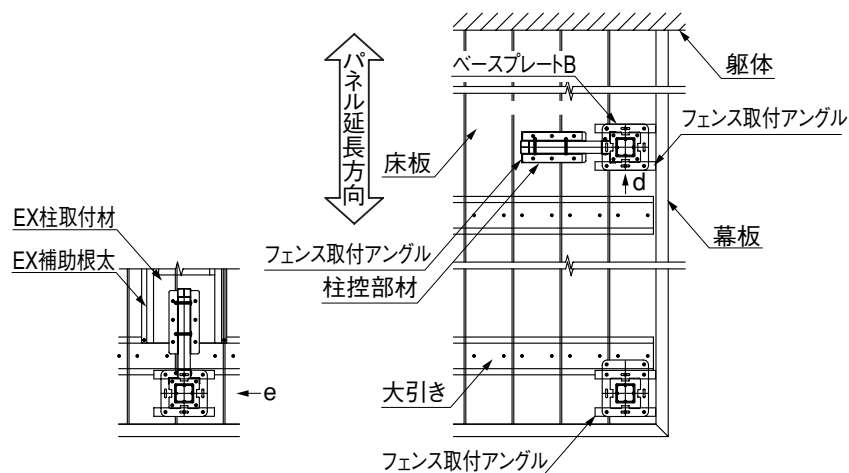


図4-8 (d矢視図)

図4-9 (e矢視図)

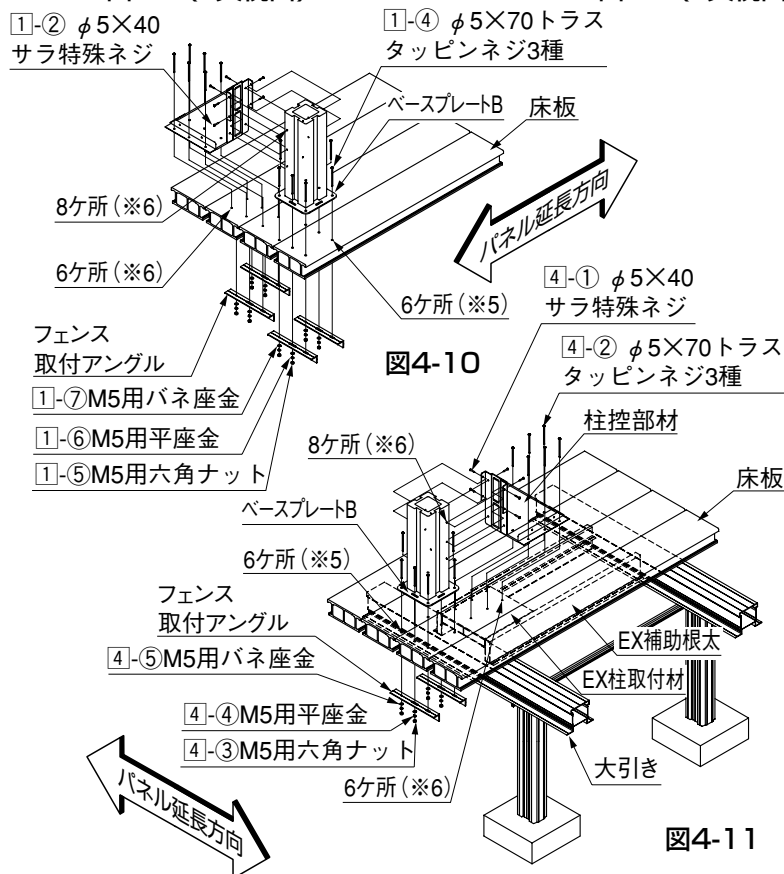


図4-10

図4-11

- 柱の固定位置を決めてください。
(図4-7、4-8、4-9参照)

ポイント

- 図4-7は、フェンスを躯体に向かってデッキの右端に設置する場合を示しています。左端に設置するときは、左右反転しますので注意してください。
- 図4-8のf値の最小値は90mmです。
- 図4-8のf値は、フェンス取付アングルが手で届く範囲で自由に設定することができます。

注意

- 柱には、つまずき防止用の警告シールが貼ってあります。必ず柱制御材が組付く面に警告シールが見えるように、柱の向きを合わせてください。(※4)
- ※4は警告シール貼付面です。

- 柱のネジ位置をマーキングしてください。(※5)
- マーキングした位置にφ5.5の下孔をあけてください。
- 柱を1-4、1-5、1-6、1-7でフェンス取付アングルを挟み込んで取付けてください。(図4-10、4-11参照)
- 柱制御材を所定位置にはめ込み、ネジ位置にマーキングしてください。(※6)
- マーキングした位置を柱にはφ2.5、床板にはφ5.5、EX柱取付補助材にはφ4.5の下孔をあけてください。
- 柱制御材を4-2、4-3、4-4、4-5で、フェンス取付アングルを挟み込

ポイント

- コーナー部の柱には、制御材は不要です。
デッキの側面に立てる場合は図4-8、4-10、前面に立てる場合は、図4-9、4-11を参照してください。
- EX柱取付材のある箇所にはフェンス取付アングルを使用せずに、4-2で取付けてください。(図4-11参照)

- 柱に制御材を4-1で取付けてください。

4. つづき

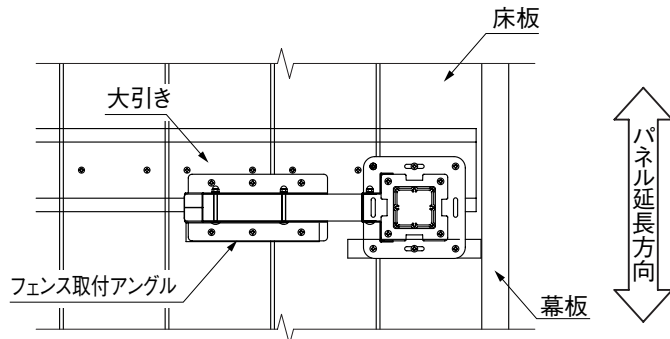


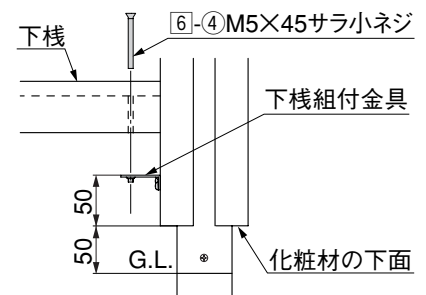
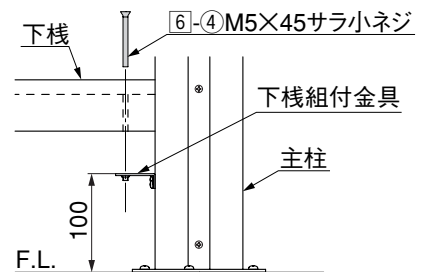
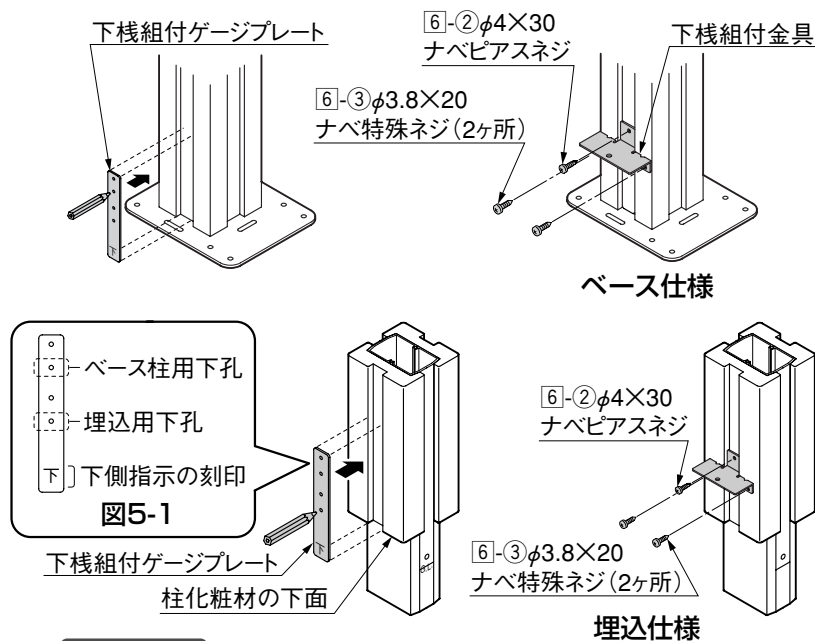
図4-12

補足

- ネジの位置に大引きがある場合は、大引とフェンス取付アングルを併用して取付けてください。(図4-12参照)
- フェンス取付アングルが大引きと干渉する場合は、金具に向きを変えて取付けてください。

5. 下棧の組付け

5-1 主柱 ※下棧の組付位置は、所定の高さから変更できません。



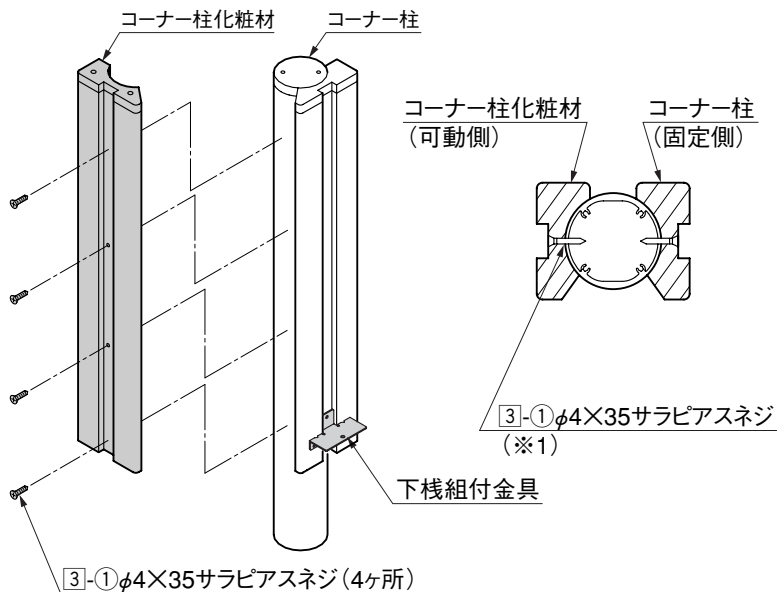
ポイント

- ゲージプレートには上下があります。「下」と刻印してある側を下に合わせてください。(図5-1参照)
- 柱溝部に下孔φ4.5をあける際に、中のスリーブまで貫通させないでください。(主柱のみに加工)

- ① パネルを入れる側の面に下棧組付金具を組付けてください。
- ② 柱の底面にゲージプレートの下面を合わせ、図5-1のように印をつけてください。
- ③ 印を付けた支柱溝部のネジ位置にφ4.5、他2点のネジ位置にφ2.5の下孔をあけてください。
- ④ それぞれのネジで柱と下棧組付金具を組付けてください。
- ⑤ 下棧をのせて[6]-④で下棧と組付金具を固定した後、パネルを挿入してください。

5. つづき

5-2 コーナー柱 (埋込仕様)



- ① コーナー柱化粧材をコーナー角に合わせて組付けた後、下枠組付金具を組付けてください。

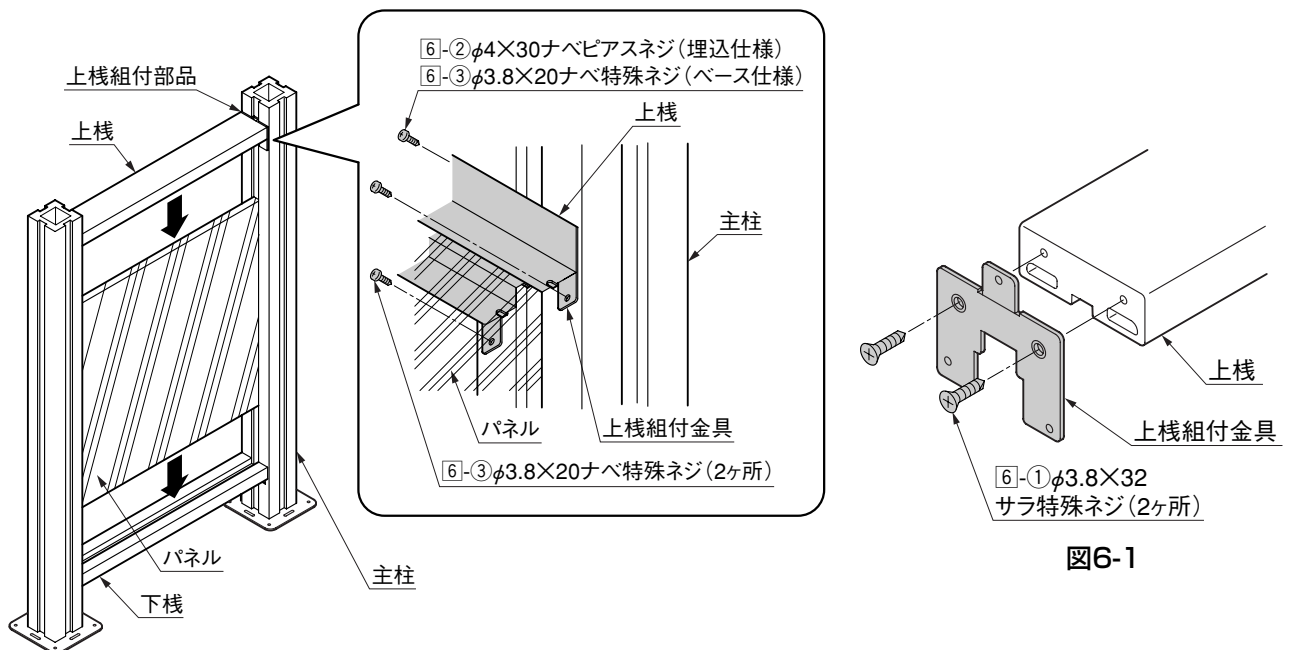
ポイント

- ネジを締込みすぎて化粧材を突き抜かないように注意してください。(※1)

補足

- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが異なるので注意してください。「1.施工時の重要注意事項」を参照してください。
- ②以降は「5-1 主柱 埋込仕様」を参照してください。

6. パネルおよび上枠の組付け



- ① 上枠に上枠組付金具を[6]-①で固定してください。(図6-1参照)
- ② 柱と下枠の溝にパネルを挿入した後、上枠の溝をパネルに合わせて組付位置を決めてください。
- ③ ベース柱の場合、片側3ヶ所のネジ位置すべてにφ2.5の下孔をあけ、[6]-③で固定してください。
- ④ 埋込柱の場合は、柱溝部のネジ位置のみφ4.5の下孔をあけ、[6]-②で固定してください。他はベース柱と同様です。

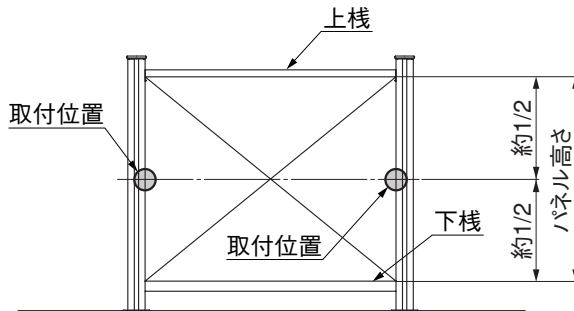
ポイント

- 上枠の平行および高さを確認して組付けてください。
- パネルには表裏があります。ピンネイルの打ち込んだ側が裏になります。

図6-1

7. ラチス枠固定金具の組付け

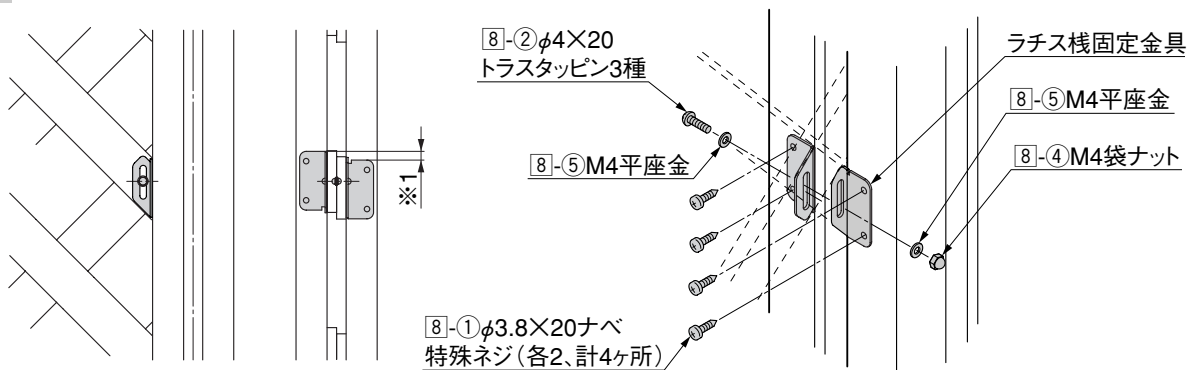
※T-18パネルのみに必要な内容です。



ポイント

- パネル幅の切詰めの有無でラチス枠固定金具の取付位置が異なります。
- 取付位置はパネル高の中央に最も近い交点に取付けます。規格品では7段目交点が中央になります。

7-1 標準納まり

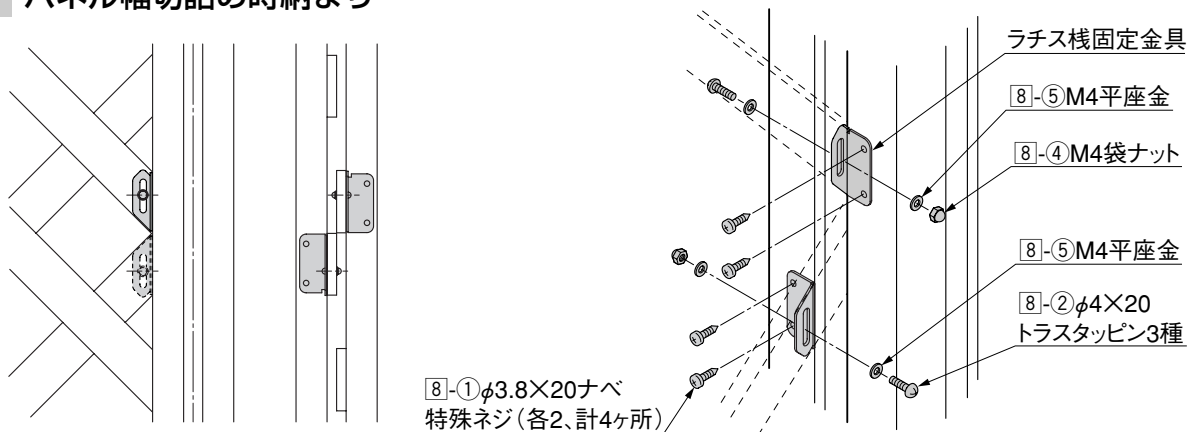


- ① ラチス枠固定金具をパネル枠に現合し（パネル枠の幅内）、φ2.5の取付用孔をあけてください。
- ② ラチス枠固定金具の長孔部よりパネル交点に、φ4.5の貫通孔をあけてください。
- ③ ラチス枠固定金具とパネル枠を、8-2、8-3、8-4、8-5を使って固定してください。

補足

- パネル枠を固定する位置により、使用するネジ長（8-2あるいは8-3）が異なります。
- ラチス枠固定金具の高さは一致しません。（※1）

7-2 パネル幅切詰め時納まり



- ① ラチス枠固定金具をパネル枠に現合し（パネル枠の幅内）、φ2.5の取付用孔をあけてください。
- ② ラチス枠固定金具の長孔部よりパネル交点に、φ4.5の貫通孔をあけてください。
- ③ ラチス枠固定金具とパネル枠を、8-2、8-3、8-4、8-5を使って固定してください。

補足

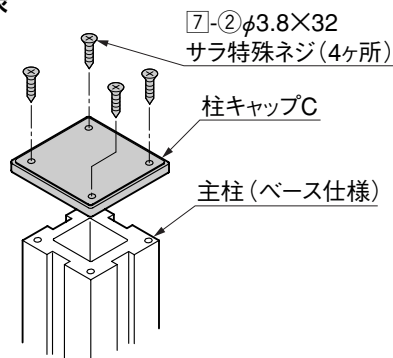
- パネル枠を固定する位置により、使用するネジ長（8-2あるいは8-3）が異なります。

8. 柱キャップの取付け

補足

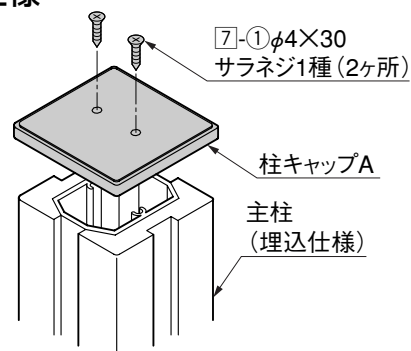
- 主柱の仕様によって柱キャップの種類が異なります。
 - ・ ベース仕様……柱キャップC
 - ・ 埋込仕様……柱キャップA

8-1 ベース仕様



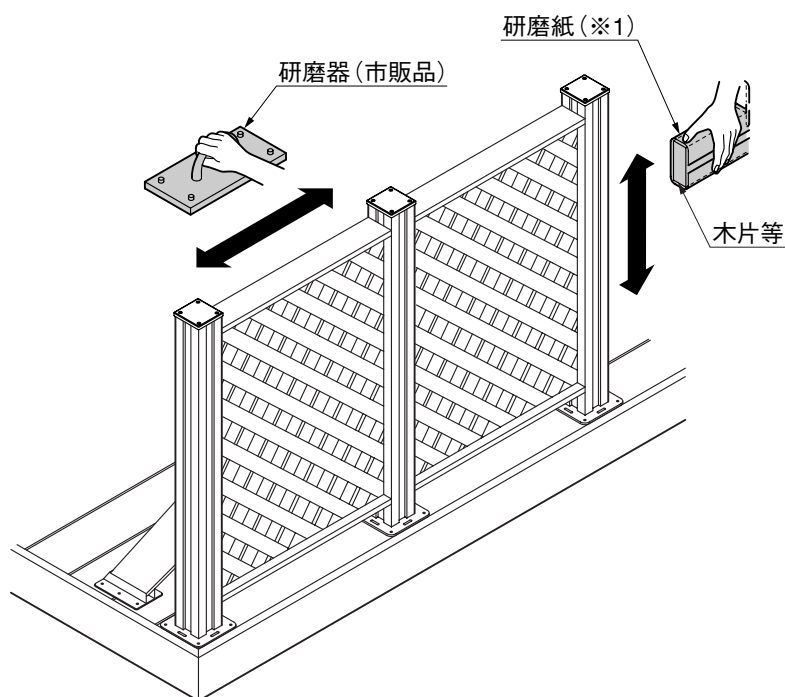
- ① 柱キャップCを柱上部に現合し、キャップ組付孔より柱上面に深さ15mmのφ2.5下孔をあけてください。
- ② 7-2でキャップを固定してください。

8-2 埋込仕様



- ① 柱キャップAを柱のタッピングホール位置と取付用孔位置を確認し、現合してください。
- ② 7-1でキャップを固定してください。

9. 施工後の仕上げ



ポイント

- 施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱してある研磨紙で補修してください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をばかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)
- 部材の研磨方向に沿って擦ってください。
- 製品お引き渡しの際は、お客様に研磨紙による補修方法について説明をしてください。

補足

- 市販の研磨器等(研磨紙を取付ける器具)をお使いいただくときれいに仕上げることができます。
- 市販の研磨紙を利用する際は、80番の研磨紙をお使いください。

取説コード

C281

VCU822646A
200109A_1007
200405B_1001